

◆◆赤坂地区では10年間にこんなまちの変化がありました◆◆

10年前と現在のまちの違い

◆開発事業によりオープンスペースを創出

◆青山通りまちづくりガイドラインを策定予定(年内)

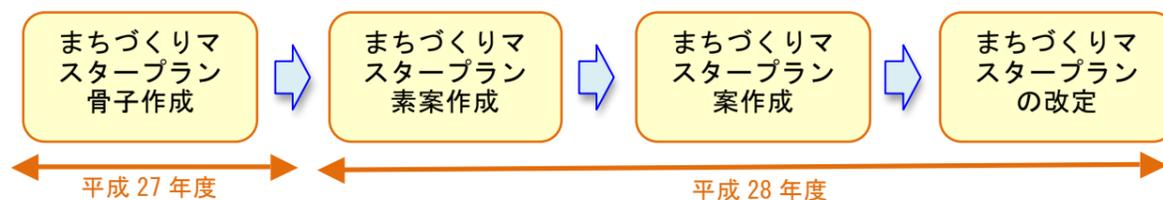
開発事業により区の公園と民間施設のオープンスペースを一体的に整備(赤坂九丁目)



青山通り沿道の将来イメージパース
(出典:青山通り周辺地区まちづくりガイドライン(素案))

◆◆まちづくりマスタープランの改定スケジュール◆◆

まちづくりマスタープランは以下のようなスケジュールで改定する予定です。



◆◆次回、第2回意見交換会は以下の日程で開催します◆◆

地区	日時	場所
芝地区	11/5 (木) 18:00~20:00	芝公園区民協働スペース(芝公園保育園内)
麻布地区	11/16 (月) 18:30~20:30	麻布区民協働スペース(麻布保育園内)
赤坂地区	11/9 (月) 18:30~20:30	赤坂区民センター
高輪地区	11/10 (火) 18:30~20:30	高輪区民センター
芝浦港南地区	11/12 (木) 18:30~20:30	芝浦区民協働スペース
台場地区	11/17 (火) 18:30~20:30	台場区民センター

まちづくりマスタープランや意見交換会について感想やご意見などお寄せください！
また、意見交換会への参加者を引き続き募集していますので、ご希望の方はご連絡下さい。
港区 街づくり支援部 都市計画課 街づくり計画担当
TEL 03 (3578) 2235、FAX 03 (3578) 2239
〒105-8511 東京都港区芝公園 1-5-25 (港区役所本庁舎 6 階)

港区まちづくりマスタープラン
意見交換会ニュース

赤坂地区
No.1
2015.9.15

赤坂地区での第1回意見交換会を開催しました

平成27年9月15日(火)の18時30分から赤坂区民センターで、港区まちづくりマスタープランについての赤坂地区での第1回意見交換会を開催しました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

当日は「まちづくりマスタープランの概要 10年前と現在のまちの違いについて」をスライドで紹介した後、2つのグループに分かれて「地区の魅力」や「地区の課題」について意見交換しました。

その結果を模造紙にまとめ、発表を行いました。出された意見の詳細は裏面をご覧ください。

グループでの話し合いは1時間程度でしたが、意見交換会やまちづくり全般についてのご意見を幅広くいただいたほか、机上に地図を広げ、意見やアイデアを出し合っ、活気ある話し合いになりました。ご協力ありがとうございました。



まちづくりマスタープランとは

- おおむね20年後を目標とするまちの将来像やまちの基本的な方針などを示すものです。
- 区全体のまちの将来像と地区別の特性に応じたまちづくりの方針で構成されています。
- 都市計画や建築、交通などのハード面に限らずバリアフリー、子育て、緑、環境、防災、防犯などのソフト面も含んだ計画です。

意見交換会とは

- 地区ごとに開催し、区民の皆さんからきめ細な地域の情報や実情などを伺い、その地区の課題や計画内容について話し合う会です。
- 各地区3回程度開催する予定で、1回目は既に開催しました。2回めの予定は最後のページに紹介しています。3回めは12月中旬~1月中旬の開催を予定しています。

様々なまちの魅力や課題が出されました

※意見交換会の内容を要約・整理して掲載しています。

歴史・文化について

- ・赤坂、青山地区は日本でも一番魅力的な地区だと思う。新宿、渋谷のようになってほしくない。特に、歴史あるまちであることも魅力であり、新しいものだけでなく、歴史を大切にしたいまちづくりを進めてほしい。
- ・歴史を示す石碑や看板を設置する。

歩道・道路・交通について

【バスについて】

- ・渋谷、田町への都バスが無くなり、高齢者・子連れにとっては不便になった。港区と渋谷区で連携して、バスを運行してほしい。
- ・バスが日常の足である。もっと便利になってほしい。
- ・南青山は交通が不便で、「陸の孤島」である。
- ・ちいばすのルートをわかりやすくしてほしい。
- ・赤坂六丁目のバス停は周囲から見えにくい。

【道路について】

- ・道が細く、一方通行ばかりで不便である。電線地中化を進めてほしい。
- ・道路の接続が悪い。

空き地・オープンスペースについて

- ・遺産相続で空地、駐車場が増えている。
- ・小さな公園をもっと作る。
- ・お年寄りが集えるベンチを設置してほしい。
- ・赤坂離宮沿いは緑が気持ちいい。

その他地区の課題

- ・地価が高く人が離れていってしまう要因である。
- ・通りにゴミが散乱しており、住みたいと思えるまちではないのではないか。
- ・買い物が不便である。

町会・コミュニティ

【町会の担い手】

- ・町会の加入率が低く、町会活動の維持が難しい。テナントは外部の人で、マンション住民は近所付き合いがなく、町会活動に参加していない。
- ・回覧板が回ってこない。
- ・高齢者に負担を押し付けたくない。区の商品券の配り物では、人手がないため84歳の女性がやむなく地区を回って配っていた。港区はお金のある区であり、区で配るべきである。
- ・神輿を担ぐ人が少ない。

【町会の必要性】

- ・町会の統合などは区主導でできないのか。このまま町会に人がいなくなったら、その地域はどうするのか。
- ・住民は町会にあまり期待していないが、災害時は、町会がないと対応できないだろう。
- ・町会に入ることのメリットを工夫すべきである。

【コミュニティ】

- ・無縁社会であることが課題である。人のつながりは大事であり、行政としてどうするのか、考える必要がある。

まちづくりの進め方について

【幅広い参加と連携】

- ・土地を持っている人が港区に住んでいない。まちづくりは地権者が関わる必要がある。
- ・住民と区と一緒にまちづくりを考える必要がある。

【情報周知】

- ・区報を、新聞を取っていない世帯も含め、全戸配布してほしい。

防災・治安について

【防災対策と情報提供を】

- ・先日防災メールで古川が危険であるとの情報が流れたが、古川の所管はどこで、なぜ危険なのか。また、現在どんな対策をとっているのか。一般住民にきちんと知らせてほしい。
- ・広報のためには、区報だけでは無理である。チラシ等を配って知らせて欲しい。
- ・携帯メールは、登録していない人が多いだろう。
- ・防災に役立つ案内が欲しい。

【店舗のモラルある営業を】

- ・モラルのない営業をするお店が点在している
- ・住民は夜間の騒音等に悩まされている。

子どものためのまちづくりを

- ・子ども（ファミリー世帯）が若干増えてきている。
- ・子どもの声が聞こえるまちにしたい。
- ・子どもの遊び場が無い。
- ・青山小学校、青山中学校は、落ち着いていて大変良い学校である。

